

インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ： 報告数3, 203件(前月比0.6、前年同月比40.5)と1月をピークに2月に続いて大幅に減少しています。前年同月が79件と少なかったため前年度との比較ではまだ件数が多いようですが、今後さらに減少していくものと推測されます。

小児科定点

(全体傾向)

報告数8,899件(前月比1.0、前年同月比2.3)で前月と同じ件数でした。全体的にはインフルエンザ(3,203件)と感染性胃腸炎(3,587件)が多くを占めます。3月はインフルエンザの大幅な減少(前月比0.6)がみられた一方で、感染性腸炎の急激な増加(前月比1.8)に加え水痘(前月比1.4)、伝染性紅斑(前月比1.7)、流行性耳下腺炎(前月比1.5)の増加により全体の報告数としては変化がみられませんでした。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症： 報告件数64件(前月比0.4、前年同月比0.3)で、昨年12月をピークに今年に入り連続的に減少しており、例年並みの推移を示しています。
2. 咽頭結膜熱： 報告数106件(前月比1.1、前年同月比4.1)で、昨年12月をピークに今年はほぼ横ばいで推移していますが、例年と比較すると件数は多いようです。
3. A群溶連菌咽頭炎： 報告数323件(前月比1.1、前年同月比1.6)で、1月から毎月増加を認めますが例年並みの推移と考えられます。地域的には熊本(11.6)、宇城(12.0)からの報告が多いようです。
4. 感染性胃腸炎： 報告数3,587件(前月比1.8、前年同月比1.6)と最も多く、3月に入り急激な増加を示しています。例年夏季に向かって毎月漸減傾向を示しますが、3月の大幅な増加はやや異例でともいえます。地域的には山鹿(128.5)、菊池(121.3)、宇城(105.0)からの報告が多いようです。
5. 水痘： 報告数581件(前月比1.4、前年同月比1.7)で、2月は減少していましたが、3月に入り増加に転じ例年よりも多い報告です。阿蘇、御船を除く県下全域から多いようです。
6. 手足口病： 報告数6件(前月比0.5、前年同月比0.1)で、年末から少ない件数で推移しています。熊本5件、有明1件の報告でした。
7. 伝染性紅斑： 報告数145件(前月比1.7、前年同月比5.6)と、1、2月はやや少なかったものの3月に入り再び急激な増加を示しています。昨年後半から例年になく多い件数で推移しています。
8. 突発性発しん： 報告数171件(前月比1.4、前年同月比1.1)と、3月は若干増加傾向がみられましたが、ほぼ例年並みの水準で推移しています。
9. 百日咳： 報告数3件(前月比3.0、前年同月比-)で、それぞれ菊池、御船、人吉からの報告でした。年齢的には、10~14歳1件、15~19歳1件、20~29歳1件でした。

10. ヘルパンギーナ： 報告数37件（前月比 1. 2、前年同月比 0. 6）と、3月は例年並みの少数の報告でした。その中で天草（6. 3）からの報告が目立ちました。
11. 流行性耳下腺炎： 報告数469件（前月比 1. 5、前年同月比 2. 5）で、昨年後半から増加傾向が続いていますが、3月は前月からさらに増加し、この1年で最も多い件数でした。宇城（22. 3）からの報告が多いようです。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告数2件（前月比一、前年同月一） 熊本からの報告です。
2. 流行性角結膜炎： 報告数42件（前月比0. 9、前年同月0. 9）と減少しています。地区別では熊本41件、菊池1件の報告です。年齢別では20～39歳台で62%を占めています。

STD定点

1. 性器クラミジア感染症：報告数 40件（前月比 1. 1、前年比 1. 0）で、前月比、前年比ともにほぼ同数でした。男女別は、男性11件、女性29件でした。年齢別は、男性は15～49歳に見られ、女性は15～24歳に多く見られます。地域別は、熊本が29件と多く、次いで御船、宇城各5件、有明1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：
報告数 11件（前月比 0. 9、前年比 0. 5）でした。前月、前年比ともに減少しています。男女別は、女性が10件と多く見られます。年齢別は、男性は30～39歳に1件、女性は15～70歳以上に幅広く見られます。地域別は、熊本が6件、八代5件でした。
3. 尖圭コンジローマ： 報告数 11件（前月比 2. 2、前年比 1. 6）で、前月比、前年比ともに増加しています。男女別は、男性3件、女8件でした。年齢別は、男性は20～54歳に見られ、女性は20～34歳に見られます。地域別は、熊本11件のみでした
4. 淋菌感染症： 報告数 8件（前月比 0. 9、前年比 0. 3）で、前月比、前年比ともに減少しています。男女別は、男性が6件、女性2件でした。年齢別は、男性は15～54歳に見られ、女性は15～19歳、55～59歳に各1件見られます。地域別は、熊本が4件、宇城3件、菊池1件でした。

基幹定点

（月報分）

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：
報告数 69件（前月比 0. 9、前年同月比 1. 0）でした。年齢は、54件（78%）は70歳以上でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：
報告は5件（前月比 1. 7、前年同月比一）でした。場所は熊本保健所2件、八代保健所1件、有明保健所2件でした。年齢は65～69歳が1件、70歳以上が4件でした。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：
報告はありませんでした。

4. 多剤耐性アシネトバクター感染症：
報告はありませんでした。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告は0件（前月比－、前年同月比－）でした。

2. 無菌性髄膜炎： 報告は9件（前月比4.5、前年同月比－）でした。場所は熊本保健所8件、有明保健所1件でした。年齢は、5～9歳1件、60～64歳1件でした。

3. マイコプラズマ肺炎：
報告は4件（前月比0.7、前年同月比4.0）でした。場所は熊本保健所4件でした。年齢は、0歳1件、1～4歳2件、5～9歳4件、10～14歳1件、40～44歳1件でした。

4. クラミジア肺炎：報告は2件（前月比2.0、前年同月比2.0）でした。場所は熊本保健所2件でした。年齢は、1～4歳1件、5～9歳1件でした。

届け出対象感染症

1類感染症：	報告はありませんでした。
2類感染症：	結核：32件
3類感染症：	報告はありませんでした。
4類感染症：	つつが虫病：1件
5類感染症（全数把握）：	アメーバ赤痢：1件
	後天性免疫不全症候群：2件
	梅毒：1件
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症：2件
	風しん：1件